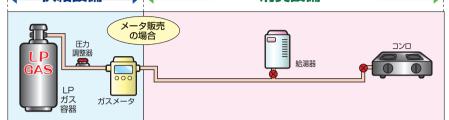
日頃の安全点検は、ご自身の手で行って下さい。

販売店が責任を もって管理します。 消費者の方が責任をもって 管理していただきます。

消費設備 供給設備



●供給設備とは

容器からガスメーターまでの設備のこ とです。

●消費設備とは

ガスメーターの出口から燃焼器(ガス 器具) に至るまでの設備のことです。

私たち
▶アイエスカステム株式会社では、保安機関として認定を受 けたLPガス販売店として、液化石油ガス法に基づき、次のよう な点検・調査を行います。

容器交換のつど

LPガス容器・調整器・容器バルブ・供給設備などの外観点検。

1年に1回以上

地下室等の配管からのガス漏れ調査など。

4年に1回以上

調整器の機能点検、配管のガス漏れ調査、ガス機器や給排気設備 の調査など、LPガス設備全般についての点検・調査。

※点検・調査の結果、改善を指摘された設備については、改善や器具の交換などに ご協力下さい。

ガス器具の近くに、燃えやすいものは置かないで下さい

- ・着火時には点火の確認をして下さい。
- ・風や煮こぼれで火が消えたり、天ぷらを揚げ ているときに、鍋の中の油に火が着くことが あり、大変危険です。LPガスの使用中は、その 場を離れないようにして下さい。
- ・ゴム管は、なるべく短くし、折り曲げたり、物 かげを通したりしないで下さい。

Pガス事故をなくすために

ゴム管はときどきチェックして、早目に交換しましょう。



- ※三つ又は絶対に使わないで下さい。
- ※ゴム管のガス漏れ点検は、筆に石鹸水を含ませてゴム管に塗って泡が出る か調べて下さい。泡が出た場合は、ただちにゴム管を交換して下さい。 ※ゴム管は、ガス栓の赤い線のところまで差し込み、ホースバンドでしっか

ガスの炎は青い炎でご使用下さい。 赤っぽい炎は、不完全燃焼しています







完全燃焼

空気不足

小型容器の取り扱い(卓上コンロ用カセットボンベは除く)

- ●容器が倒れないように平らな場所に置いて下さい。
- ●不要になった容器は必ず販売店に返却して下さい。
- ●直射日光や火気のないところに置いて下さい。
- ●容器は、横に寝かせて使用しないで下さい。
- ●容器は、風通しのよい場所に保存して下さい。
- ●使用後は、必ず容器バルブを閉めて下さい。

固定式燃焼器(ガス器具)は ねじ接続用ホースを利用して下さい。



ガス漏れ防止のため、湯沸器や風呂釜などの 固定式燃焼器とガス栓の接続にゴム管を使用 することは禁止されています。上記のような ねじ接続用の専用ホースで接続して下さい。

ファンヒーターや炊飯器 等はコンセント型ホース をおすすめします。



着脱が簡単で確実なコンセン ト型の専用ホースをおすすめ

ガス器具の手入れ



※ガスコンロの目詰りは器具ブラシ 等で、ときどき掃除して下さい。 ※ネジなどを取外す必要がある場合 は、必ず表面の営業所・サービス

課に連絡して下さい。

●LPガス専用の器具をご使用 下さい。都市ガスの器具は使 用できません。



ガス栓・器具栓はうっかりが禁物

- ●業務終了後や使わないときは、必ずガス栓や器具栓が閉まっている ことを確認して下さい。
- ●マッチを使用する場合、先にマッチに火をつけてからガス栓を開いて 点火して下さい。

で存知ですか?LPガスにはこのような性質があります。

► アイ・エス・ガステム株式会社からの重要なお知らせ LPガス安全管理マニュアル

LPガスを 業務用でご使用中のお客様へ

業務用周知文書

空気よりも重い

LPガスは空気よりも重く、漏れると低いところや物かげに たまる性質があります。もしガスが漏れたら、特に下の方の 風通しを良くしてガスを屋外に追い出しましょう。

ニオイをつけてある

LPガスそのものは無色・無臭ですが、漏れた時に分かるよ うにタマネギが腐ったようなニオイをつけてあります。

このパンフレットは、 液化石油ガス法に基づきお届けするものです。

- ■住 所
- 電話番号
- ■FAX番号

■緊急時の連絡先 アイ・エス・ガステム株式会社 047(429) 1234 (365日 24時間受付)

3 燃焼にはたくさんの空気が必要

LPガスが燃焼する為にはたくさんの空気(酸素)が必要で す。室内でガスを使用するときは、十分に換気をして下さい。

4 クリーンなガス

LPガスは、環境負荷が化石燃料の中でも相対的に小さく、 天然ガスとともにクリーンなエネルギーであると位置づけら れています。(ただし、換気不足で不完全燃焼を起こすと CO(一酸化炭素) が発生する危険性があります。)

5 液体になりやすい

LPガスは圧力をかけると容易に液化するので、液化した状 態でLPガス容器(ボンベ)に入っています。

職場の皆さまで回覧して下さい。



みんなで止めよう温暖化 チーム・マイナス6%

私をちアイエス・ガステム株式会社は、

-ムマイナス6%に参加しております。

災害時の対策は・・・

火災の時は

容器バルブを閉 めて、消防署員 などに容器の 位置を知らせ て下さい。

地震の時は

火を全部消し、ガス 栓、器具栓を全て閉 め、二次災害防止の る、一人火音的止の 為、ゆれが大きかっ た時は、おさまった 後で容器バルブも閉 めて下さい。



洪水の時は

容器バルブを閉め、 倒れたり、流され たりしないように ロープなどで容器 を固定して下さい。



容器バルブの閉め方

時計と同じ右回しです。



災害に強いLPガス

近年、各地で地震などの大規模な災害が続いています。どの被災地においてもライフラインの早期復旧が課題と なりました。LPガスは復旧の早さや避難所などですぐに対応出来ることなどから、多くの人々の暮らしに安心 をもたらしました。その実績からさまざまなところで、LPガスは災害に強いことが実証されています。

もしもガスが漏れたら(ガスのニオイに気づいたら ガス漏れ警報器が鳴ったら)





- ○屋内の火は全部消してください。また、マッチをすったり、タバコな ども吸わないで下さい。
- ○コンセントの差込やスイッチには触れないで下さい。着火の原因とな ります。(換気扇は回さないで下さい。また、回っている換気扇はその ままにして手を触れないで下さい)
- ○ガス栓、器具栓、容器バルブを閉めて下さい。
- ○扉や窓を十分に開け、風通しを良くしてLPガスを追い出して下さい。
- ○直ちにお客様等を安全な場所に誘導し避難させて下さい。
- ○表面の営業所・サービス課へ連絡し、点検を受けるまでは L Pガスを 使用しないで下さい。

LPガス保安連絡担当者の選任

3号メーター(3m3/h)以上のメーター が取り付けられていて、従業員が10名以 上のところでは、「LPガス保安連絡担当 者」を選任して下さい。

担当者の役割

- ○弊社と連絡を取り合う窓口となります。
- ○LPガスの使用上の注意事項や正しい使用方法を従業員にお知ら せします。
- ○始業・就業時にガスメーターやガス栓器具栓のチェックをします。

☆☆もしものためにお願いします

- ○避難誘導担当者を決め、非常口などの避難経路を 決めておく。
- ○お客様にガス漏れを知らせて、風上の安全な場所 へ避難誘導する。

ただちにご連絡を

休日・夜間に限らず緊急の場合は表紙の連絡先へご連絡下さい。

- 1. あなたのお名前(店舗等) 4. ご住所
- 2. ガス漏れなどの状況
- 5. お近くの目標
- 3. 電話番号

こんなときはアイエス・ガステム株式会社(表紙の営業所・サービス課)にご連絡下さい。

- ◆LPガス設備の工事や新しくガス器具を取り付けるとき、または取り外すとき。
- ◆新築・改築・転居などで新しくLPガスを使うとき、またはやめるとき。
- ◆ガス以外の工事(水道工事・店舗の増改築など)を行うとき。
- ◆ストーブなどの季節的器具で、取り付け・取り外しが困難なとき。
- ◆風呂がま及び大型湯沸器等固定式燃焼器の変更及び修理工事は、自らで行わないで下さい。
- ※LPガス配管系統の変更は弊社と十分連絡を取りながら実施して下さい。

集中団地供給のお客様へ ──── ★ご近所でこんな工事を見かけたら、是非お知らせ下さい

工事がガス漏れの原因になることも・・・

- ○掘りおこし、埋め戻し、その他工事の内容によって、埋設してあるガス管をいためたり、異常な重みでガス管が 破損してしまう場合があります。
- 〇ガス漏れ!は、周辺の多数の方々に大変なご迷惑とご不便をおかけすることになります。

安心を支えるセイフティ機器

■マイコンメーター

ガス漏れなどLPガスの流れに異常があると、ガスメーター に内蔵されたマイコンと遮断弁が働き、ガスを遮断します。 マイコンメーターは大きな地震の時 (震度5相当以上) に はガスを止めるなど、保安機能がさらに充実しています。 弊社ではマイコンメーターの設置を基本としております。

■マイコンメーターの復帰方法

マイコンメーターがガスを遮断した後、自分でできる復帰方法



 ガス栓・器旦栓を すべて閉める。



ある場合は、キャップを



※ガス栓や器具栓を閉めた状態で、復帰ボタンを押した後、 ガスもれがないかどうかをマイコンメーターが1~2分間、 安全確認をしています。異常がなければ、赤いランプ(また は液晶のアルファベット)の点滅が消え、ガスは元通りご使 用になれます。(なお、正常に復帰しない場合や、不明な点 がある場合は表面の営業所又はサービス課にご連絡下さい。)

ガス漏れや一酸化炭素(CO)中毒による事故を 未然に防ぐためにガス漏れ警報器・CO警報器を 設置しましょう。

■ヒューズガス栓

ゴム管が外れて、ガスの 流量が多くなると自動的 にガスが止まる安全なガ ス栓です。





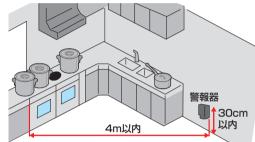
■ガス漏れ警報器

〇ガス漏れ警報器があると万が一のガス漏 れの際、警報ランプとブザーでお知らせ しますので安心です。

○有効期限内のものを使用して下さい。



警報器が適切な位置に設置されているかを確認しましょう



LPガス用のガス 漏れ警報器は、下の 図のように床に近い 場所に設置されてい ますか。

誤った設置位置で はガス漏れを感知し **■↑30cm** ませんので、警報器 の設置場所を確認し ましょう。

○警報器の電源プラグは常時コンセントに差し込んでおきましょう。 ○警報器のまわりにものを置かないようにしましょう。

○警報器が交換期間内のものかを確認しましょう。

換気に充分注意して下さい

LPガスが燃えるためには、たくさんの空気を必要とします。換気が十分に行われないと、酸素不足や室内に排ガスが充満して不完全 燃焼を起こし、有害なCO(一酸化炭素)が発生し、死亡事故に至る恐れがあります。大変危険ですので、十分な換気をして下さい。



ガス器具を使用するときは

ガス栓は全開で使用し、使用 後は完全に閉めて下さい。 (図はホースバンド使用の例)



排気筒 排気 ガス

給気口

义(1)

.. 給湯 zント 30V) | |D=

※半密閉式燃焼器をご使用の方は、 必ず排気筒(煙突)と給気口(空気 取り入れ口)を設置して下さい。 (図1参照)。また、排気筒(煙突) の中に鳥が巣を作り、換気を妨げ る場合があります。そうした心配 のある方は表面の営業所又はサ ービス課に点検を依頼して下さ い。不正改造をした場合、安全装 置が作動せず、CO(一酸化炭素) による死亡事故が発生する場合 があります。

小型湯沸器のご使用上の注意

火が消えたときは、ただちにご使用を中止して下さい。

一酸化炭素が発生している可能性があります。

再点火して繰り返し使用すると、一酸化炭素中毒事故にいたる恐れがあります。



★小型湯沸器は長時間使用しないで下さい。 安全装置が作動するのは、長時間使用で酸欠状態になったときや、経年劣化に よる熱交換器の詰まりです。

★ときどき小型湯沸器 のフィン(換気部)の 目づまりをチェック して下さい。



※フィンの点検などは表 面の営業所又はサービス課にご相談下さい。

■ガス小型湯沸器のお湯を 他へ給湯することは危険です。

ガス小型湯沸器のお湯を、おふ ろや洗濯機への給湯やシャワー としてご使用になるのは、不完 全燃焼を起しやすく危険です。 絶対におやめ下さい。

